

令和4年度・市社協の事業計画と予算のあらまし

令和4年度は、5カ年計画である「第6次大和市社協地域福祉活動計画」の4年目となります。次期計画の策定も視野に入れながら、引き続き計画に基づく事業の着実な遂行と計画の進行管理を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活に困窮された方々に対する相談支援とともに、食料品・日用品等の支援活動については、令和4年度も継続して実施してまいります。一方で、福祉課題を抱える方々の孤立化を防ぐために行われている地域でのつとめ等は、感染拡大防止のため中止や大幅な縮小を余儀なくされておりますが、今後のポストコロナ・ウィズコロナを踏まえた新たな地区社会福祉協議会活動の展開に向けてメニューの企画・提案を行ってまいります。

また、ここ数年は有事に備えて「災害ボランティアセンター」運営スタッフの養成を行ってまいりますが、令和4年度はスタッフのスキルアップを目的とした講座を開催し、コアメンバーのグループ化による主体的な活動づくりに向けた支援を行ってまいります。

権利擁護事業に関しては、第2期市民後見人養成講座を大和市とともに実施するとともに、既に受任した市民後見人に対しては、活動支援とフォローアップを行ってまいります。

さらに、自立相談窓口と既存の事業との相談窓口を統合することにより、一体的に相談対応を行う総合相談機能の整備に向け、引き続き調整を図ってまいります。

「大和市まごころ地域福祉センター」については、平成30年度からの指定管理期間の最終年となります。平成13年の開所当初から、施設の管理運営と各種事業を実施してきましたが、21年を超える活動により本会の果たす役割を終え、今後取り組んでいかなければならない新たな課題解決に向けた活動の充実を図っていくため、令和4年度末をもって終了することとなります。これまでに培ってきたノウハウを次期指定管理者に適切に引き継ぎ、事業の遅滞が生じることのないよう、万全を期してまいります。

拠点区分別当初予算（支出）

（単位：千円）

拠点区分	予算額
法人運営事業	175,488
共同募金配分事業	8,810
企画広報啓発事業	21,773
ボランティア活動事業	6,423
地域援護事業	22,008
あんしんセンター事業	7,684
在宅援護委託事業	26,918
指定管理事業	130,573
社会福祉事業区分合計	399,677
当期末支払資金残高	33,169
総合計	432,846

*収益事業区分予算：6,794千円
（主に飲料自販機の設置による手数料収入）

新規・充実事業の概要

事業名	事業区分		概算費用 （単位：千円）
	新規	充実	
善意銀行運営事業			10,397
生活困窮世帯・ひとり親世帯に対する食料支援		○	400
ボランティア活動事業			6,423
災害ボランティアセンター運営スタッフのスキルアップと組織化		○	118
ポストコロナ、ウィズコロナにおける地区社協活動の活動メニュー提示		○	138
生活困窮者自立支援事業			13,463
生活支援事業及び権利擁護事業の窓口一本化による総合相談体制の整備		○	13,463
市民後見人養成事業			2,576
市民後見人養成・活動支援事業の充実		○	2,576

※「概算費用」は拠点またはサービス区分の予算額であり、新規・充実事業はその一部を充てています。